

# かりがね karigane

No  
384

春

【季刊】かりがね

発行人／社会福祉法人かりがね福祉会  
昭和 54 年 9 月 26 日 第三種郵便物認可  
3,6,9,12 月 1 日発行  
平成 31 年 3 月 1 日発行

## Contents

表紙	在宅支援センターえーる（在宅部門）
裏表紙	風の工房展示会スナップ
新たな理念への取り組み	P1,2
在宅支援センターえーる（在宅部門）	P3,4
いこいの家作品展報告	P5
感謝録・編集後記など	P6



# 新しい理念策定、理念経営による 組織一体化を目指す

社会福祉法人かりがね福祉会 理事長 小林 彰

## 全員の意見を結集して理念作りに

社会福祉法人かりがね福祉会が設立して40周年、かりがね福祉会は新しい理念の基、理念経営による組織一体化に向けて、新しい歩みを開始します。この40年間は、「社会に開かれた施設づくり」を掲げ、「社会化」、「家庭化」、「近代化」を基本方針にすえて歩んでまいりました。その結果多くの成果物を生み出してきました。かりがね福祉会にとってはこれが原点です。原点を踏襲して理念策定に取り組むことになりました。

平成30年8月1日、上田市ふれあい福祉センターに法人職員が集まり、法人全体で新しい理念書を策定しようと、キックオフミーティング（プロジェクトの開始を宣言する集まり）が開催されました。法人の全職員の願い、想いを結集して理念書策定に取り組もうという集まりでした。

かりがね福祉会は、世代交代のときを迎えていました。設立時にいた者は理事長である小林だけですし、設立から十年以内に勤務に就いた職員も数名だけとなっています。設立当初は、かりがね学園（現ライフステージかりがね）だけであった事業所も10を超える規模になってきました。これまでの歴史や取り組みを踏まえたうえでの、理念の見直しと組織一体化がどうしても必要な状況になってきました。

## コンサルティングを受け、丁寧に進める

理念書策定については、法人として初めての試みで、専門家によるコンサルティングをお願いすることになり、仙台市にある（株）S・Yワークスにお願いをしました。

理念策定のためには、法人を支えている職員の願いや想いを反映する必要があります。トップの考えだけで進めていくことは望ましいこととは言えません。理念書策定のために職員全員への満足度調査や時間をかけた丁寧な聴き取りがなされました。理念書策定メンバー（理事長、総合施設長、所長クラス3名、主任クラス5名とコンサルタント1名）で月2回半日に及ぶ会議の場を設け、その都度、事業観、労働観、人生観、社会観等のレポートを提出しながら、議論を重ね、原案を策定しました。各事業所では原案を読み合わせ、意見を集約して、ほぼ4ヶ月で理念書が完成に至りました。

## 理念の浸透のために

理念書ができましたが、理念書が配布されました、各事業所に理念が掲示されています、だけでは、理念書が単なる飾りものになってしまいます。理念を職員全員が理解をし、それぞれの職員が理念を指針にすえて、日々の職務や活動、支援に活かしていくことが必要です。そのため早急に

- ①理念浸透塾の開催
- ②管理職・主任の勉強会の開催
- ③管理職への個人面談の実施

といった取り組みをしていきます。その後は、人財育成、事業所内でのコミュニケーション力の向上、ヴィジョンの具現化にも取り組んでいきます。

「『地域の全人生に幸せを』～生成発展によって幸せを拡める地域共同体～」とても大きな理念です。かりがね福祉会は全役職員が組織一体化して地域の「幸せ」を実現しようと考えています。これまで以上に多くの皆さまのご協力が不可欠です。今後ともどうかお力添えを宜しくお願いします。

## かりがね福祉会の理念

### 【理念の主文】

## 『地域の全人生に幸せを』

～生成発展によって幸せを拡める地域共同体～

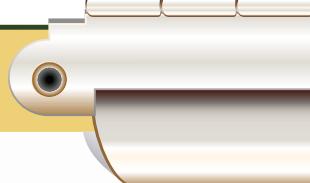
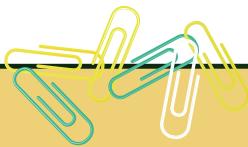
※生成発展・・・日々前進していくために成長し続けようとしていること

### 【基本方針】

- 一、利用されている方と絆を深め、自信を持って生きていける支援を行います。
- 一、幸せが拡がる地域社会の実現と発信をし、輪を広げていきます。
- 一、一人ひとりが生成発展を目指す中で、真に一体化していきます。

### 【行動指針】

- 一、自分の命を誰かの喜びに変えていく為に真摯に学び続けよう。
- 一、常に理念に立ち返り、今より少しでもより良い仕事をしていく。
- 一、大変なときこそお互い様という意識で関わり合い、助け合おう。



## 在宅支援センターえーるの在宅支援部門 (重度障害者等包括支援事業を兼ねる)

ももいろ外観



### ももいろの紹介

えーる在宅支援部門の利用者さんの活動場所として平成29年10月「ももいろ」が誕生しました！3つの個別スペースにわかつており各スペースは利用者が快適に活動できるよう利用者さんの特性に応じた環境となっております！



スペース A



スペース B



余暇時間には、  
好きなDVDを  
観たりしてすご  
しています。





防音設備もあり、  
落ち着いた静かな環境  
で取り組めています。



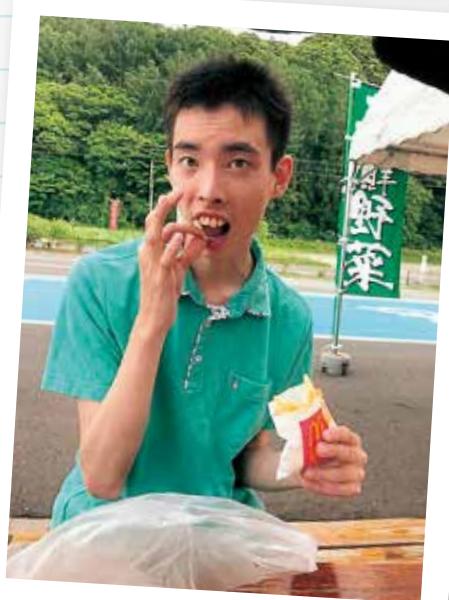
一日ドライブを行える日は、昼食を野外で  
食べる事も！！  
ご本人にとっては楽しみでもあり、気分転  
換にもなっています♪

### 空き缶つぶし

活動の一環でアルミ缶を潰しています。  
潰した缶は近くの小学校（長小学校）  
に寄付しています。

### 自立活動

“脳活キューブ”に取り組んでいます。パズルを  
用いてご本人の好きな図面を完成させています。

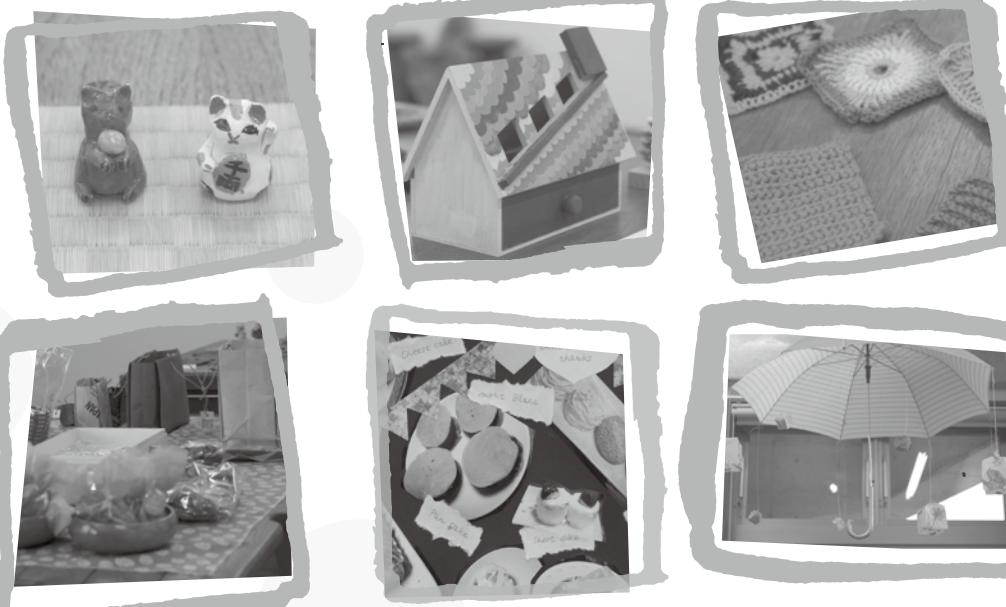


活動の合間におやつ  
タイム  
好きなマクドナルド  
でポテトとコーラを  
購入し、天気が良け  
れば外でいただきます。

## 作品展への報告



GO GO GO おやゆ



いこいの家では月に一度手仕事の日があります。作つてみたいものに挑戦する日であり、時にはテーマが決まっていくこともあります。この作品展にむけて少しつつ準備してゆくなかで、参加する方の気持ちに大きな変化が見られました。やはり何かを作るという行為の中には「私はここにいる」という声が含まれているように思います。そしてその声を届ける場所として作品展はあるのだと思います。定期的に行うことでのメリハリとなり生活の色彩そのものを色濃くするのではないでしょうか。利用されている方と私たちの今いる位置を日々確認できる場として、作品展をこれからも行なつていきたいと思います。



開設当初のOIDEOYOHausの作品も展示しました。枝葉を伸ばして大きな伸びをしているような作品の数々は庄巻の一言でした。スペースの関係上、展示しきれなかつた作品がまだ数多くあります。これらの作品を制作した時間の先に今があると改めて感じることができました。



OIDEOYOHaus

庄巻



## 感謝録

皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

※敬称略させていただきます 平成30年10月1日～平成30年12月31日

## 寄贈物品

藤沢庸助 真田中学校 馬渡令子 遠藤共子・晃  
 吉野修通 柳沢伸治 滝沢博文 シュンエイ・デンセツ  
 春原光子 本原小学校 山口けさみ 安藤善晴

白米、牛乳パック、ウエス、タオル、林檎、シクラメン、  
 アルミ缶、寝具、食品、書道道具類 以上

## 寄付金

I L B S 国際福祉協会 堀内艶子  
 (有)加藤製作所 (株)石原産業社員一同  
 81,000円

## 2018年度運営会員ご入会者

■長野県 南澤聖子 田村ひとみ 北沢礼子  
 小林彰 山岸昌子 浅倉俊樹・孝子 関孝之  
 関由起子 福西邦久 匿名希望

■北海道 岩見晴美 ■東京都 漆原正

■千葉県 森本由起子 酒井信子

(平成30年10月1日～平成30年12月31日)

## 平成30年度運営会費納入金額

	会員数(名)	会費(円)
長野県	132	605,000
北海道	1	3,000
東北地方	2	20,000
関東地方	32	334,735
中部地方	5	60,000
北陸地方	5	33,000
近畿地方	5	41,000
中国地方	1	3,000
四国地方	0	0
九州地方	1	3,000
合計	164	1,023,255

(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

## ご協力おねがいします！

現在、ライフステージかりがねでの活動にて牛乳パックを使用した作業を行っています。作業内容は、紙すきや牛乳パックの切り開き作業を主に行ってています。牛乳パックの在庫が少なくなってきたため、切っていない牛乳パックの寄付にご協力いただければと思います。よろしくお願ひいたします <(\_)>

## &lt;問い合わせ・受付窓口&gt;

ライフステージかりがね  
 ☎ 0268-72-3431



## ご冥福をお祈りします

仲沢ケサミさん

平成30年12月27日、仲沢ケサミさんが肺炎によりご逝去されました。

ケサミさんは約30年間かりがねで過ごされてきました。マッサージを得意とされ、昔は地域の高齢者施設へマッサージのボランティアに行き、地域との交流の場を大切にして過ごされていました。近年は車椅子での生活になり日中はゆったりと他利用者さんと過ごされていました。ケサミさんの笑い声や笑顔が今でも鮮明に思い出されます。

かりがねだけでなく、地域からも愛されたケサミさん。そのお人柄は、とても優しく穏やかでした。これからも素敵なお笑顔で私たちをお見守りください。

(小林わ)

編

集

後

記

今年度はかりがね福祉会40周年という節目の年であります。今までの歩みを振り返り、これからについて考える年だったと感じます。改めて理念も見返し、スタッフ全員が同じ方向を向いて支援にあたれるように取り組みを始めています。4月からは41

年目。5月には平成も終わりを迎え新しい年号になります。かりがね福祉会も新たな未来を築くための第一歩の年になってゆくように感じます。地域の中で利用者さんが、家族が、スタッフが地域の皆さんと共に笑顔で過ごせるような取り組みが広がっていけばと思います。

(三井ち)

# 風の工房展示会 2018『ひろがる つながる まっぴろげ』作戦!!!



2018年11月9日～12月17日  
ひろがる つながる まっぴろげ 作戦 と題し、  
風の工房展示会を開催させて頂きました。

今回は  
ライフステージかりがね コミュニティーカフェ会場  
カフェ&ギャラリー Saan 会場  
Boook&cafe NABO 会場 の  
3会場での展示となりました。

たくさんの方々に足を運んでいただき 頂きました  
本当に有難うございます。

風の工房としての初の試み！！  
ガレージセール“軽トラ市”も開催させて  
頂きました。

2019年も楽しい展示会開催予定です(^o^)  
乞うご期待♪♪♪

社会福祉法人 かりがね福祉会

URL <http://www.karigane.or.jp/>

法人本部／ライフステージかりがね

〒386-2201 長野県上田市真田町長 6430-1 TEL.0268-72-3431 FAX.0268-72-4406

■在宅支援センター・重度包括支援 え～る

〒386-2201 長野県上田市真田町長 6430-1 TEL/FAX.0268-72-8022

■つじ

〒386-2201 長野県上田市真田町長 7166-8 TEL.0268-75-5431 FAX.0268-75-5434

■ミライエ

〒386-2201 長野県上田市真田町長 7166-8 TEL/FAX.0268-71-7810

■共同生活サポートセンター

〒386-2202 長野県上田市真田町本原 531-1 (よつばのいえ内) TEL/FAX.0268-72-2434

■風の工房

〒386-2201 長野県上田市真田町長 2464-1 TEL.0268-72-2151 FAX.0268-72-4976

■OIDEYO ハウス

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 8551-2 TEL/FAX.0268-73-0005

■OIDEYO ハウス(分場)

〒386-2202 長野県上田市真田町本原 1491 TEL/FAX.0268-72-5067

■アトリエ Fuu

〒386-2202 長野県上田市真田町本原 531-2 TEL/FAX.0268-72-1061

■いこいの家

〒386-2202 長野県上田市真田町本原 2376-2 TEL/FAX.0268-72-8008

会員・読者の皆様からのご意見・ご感想お待ちしています。「機関誌編集委員会」までお寄せ下さい。